

3 おもてなしの心を形にする国体

(1) 三重県の魅力の発信

三重県は伊勢志摩の海や鈴鹿の山なみなど美しい自然風景や、伊勢神宮、熊野古道、伊賀の俳聖殿など多くの歴史的文化資産に恵まれ、また多彩な食文化や個性豊かな伝統芸能など多くの魅力を有しています。

これら多くの魅力は「伊勢志摩サミット」の開催を契機に、国内外へ広く発信されることとなります。世界中に高まった三重県の知名度を国体でさらにひきあげるため、観光振興の取組と連携しながら、来訪者のおもてなしやさまざまな広報活動を通じて“三重県の魅力”を発信していきます。



三重の魅力発信

(2) 多様な広報で効果的な情報発信

ア 県民の皆さんに国体の意義を十分ご理解いただき、開催に向けてのご協力、ご支援を得られるように、また、全国の来訪者に向けて、“三重県の魅力”を余すところなく伝えるために、多様な広報媒体を活用して積極的な広報活動に取り組んでいきます。

イ 一般生活の中にも広く普及したSNS^(※1)等を情報発信のツールとして活用するとともに、人口の集中する首都圏や関西圏をターゲットに首都圏営業拠点(三重テラス)や関西事務所を活用した広報活動に努めます。

ウ 大会を象徴し、広く永く県民の皆さんに愛されるような大会の愛称とスローガンを広く普及することで開催の機運を高めていきます。

また、マスコットキャラクター等を活用した商品開発など、商機にもつながる取組を進めていきます。



忍者体験



国体啓発イベント

(※1) SNS

Social Networking Service の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト。

(3) 心に残る大会づくり

ア 総合開・閉会式式典等の企画・演出については、国内外に誇る数々の“三重県の魅力”が十分に発信されるよう、関係機関と連携しながらこれまで培ったさまざまな情報発信の手法や経験、ノウハウを生かして取り組んでいきます。



総合開会式（H27 和歌山国体）

イ 競技会については、会場地市町の特徴を生かした運営を検討するとと

もに、会場にお越しいただけない人にも、各競技会の模様や速報が届き、感動の輪が広がるよう、情報発信手法の工夫に努めます。

また、各競技会を「する」「みる」「支える」人びとが、いずれにおいても、その思い出を自らの達成感や充実感とともに、次世代に語り継ぎたいと思うような参加の機会づくりに努めます。

ウ 国体の文化プログラムとして、スポーツや郷土の文化等をテーマとして、“三重県の魅力”や地域が持つさまざまな価値に気づいていただけるような取組を進めていきます。

また、実施にあたっては三重県総合博物館（MieMu）、首都圏営業拠点（三重テラス）等の活用をはじめ、県内市町、文化団体等との連携を図りながら情報発信に努めます。

(4) 来訪者との交流

ア 全国から集う選手の皆さんが、その持てる力を伸び伸びと発揮できるよう、本県選手同様、県内各地で全選手の活躍を見守り、応援します。また、競技会では、会場地となる市町が、それぞれの地域の特色を生かしたおもてなしや、住民と選手が心から交流できる機会づくりに努めます。

イ 県内外や国内外から三重県を訪れる人がいつ来ても、何度来ても、常に新しい“魅力”の発見と、温かい心のつながりを感じていただけるような、心のこもったおもてなしに努めます。